HITACHI

2026 年 1 月 5 日
株式会社日立ビルシステム
取締役社長 山本武志

2026 年 社長年頭の挨拶(グループ社員向け抜粋)

皆さん、明けましておめでとうございます。2026 年の年頭にあたり、ご挨拶申し上げます。厳しい事業環境が続く中、粘り強く取り組んでいただいている皆さんに、心から感謝申し上げます。そして、年末年始も社会の当たり前の日常を守るために力を尽くしていただいている皆さんに重ねて御礼申し上げます。

まず、最も大切な安全についてお話します。安全を守る大前提は、一人一人の高い安全意識ですが、想定外の出来事や、その日の体調、プライベートの心配事など、安全を脅かすさまざまなリスクが存在します。そのリスクをできる限り小さくするために、私たちはできることを全てやっていきます。昨年 11 月からのウェアラブルカメラの導入も、その一つです。さらに、AI Safety ソリューションとして、危険箇所のアラート機能を強化するとともに、書類作成支援、遠隔支援による作業状況の把握など、新たな機能を追加していきます。皆さんの安全意識に基づく行動にデジタルの力を組み合わせることで、新たな安全文化を築き、より安全で、安心して効率的に働ける職場・作業環境をつくっていきましょう。

続いて、日立グループの新経営計画「Inspire 2027」について、改めてご理解いただきたいことをお伝えします。「Inspire 2027」では、「真の One Hitachi」により、環境・幸福・経済成長が調和するハーモナイズドソサエティの実現に貢献し、持続的な成長をめざすことを掲げています。「真の One Hitachi」とは、日立グループ内の各事業がそれぞれに成長ストーリーを描くのではなく、各事業が Lumada(デジタル)を軸に文字通り一つにつながって他社には提供できない価値を生み出すことです。その中で、私たちのビルシステム事業は、日立グループ随一のフロントラインの力と、リモートモニタリングシステムをベースとしたデジタルサービスの提供力を最大限に生かし、「Inspire 2027」をリードしていきます。

昨年 9 月、Lumada の最先端デジタルサービスとして「HMAX for Buildings : BuilMirai」を社外発表しました。今後、段階的にメニューを拡充していきます。また、AI Safety ソリューションの取り組みや、本年 4 月の発売に先駆けて昨年社外発表した「アーバンエース HF Mirai」なども、「HMAX for Buildings」の一環と位置付けています、これらの取り組みにより、2027 年度、さらにその先の成長に向けた足がかりを築くことができました。

ビルシステム事業の新たなブランドステートメントである「ビルから社会を変えていく。」というマインドセットを胸に、皆さん一人一人がそれぞれの立場で変革に取り組むことで、日立グループの成長をリードしていきましょう。

ビルシステム事業のブランドステートメント「ビルから社会を変えていく。」に関する Web サイト
https://www.hbs.co.jp/advantage/

日立ビルシステムの Web サイト
https://www.hbs.co.jp/

お問い合わせ先

株式会社日立ビルシステム
カスタマーサポートセンター
0120-7838-99
(フリーダイヤル)